

## 蓬左文庫展示室

4/13(土)~6/2(日)  
企画展

### 人・ひと・ヒト 浮世絵の人と顔

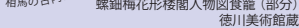
浮世絵の歴史の中で中心的ジャンルを占めていたのは美人画と役者絵でした。人間が風物にまさる最大の関心事だったのです。誰を描くか、どう描くかなど、浮世絵の人物表現の諸相を紹介します。



月岡芳年画 雪月花の内月  
市川三升 毛刺九右衛門  
徳川美術館蔵



相馬の古内裏 (部分)  
博物館コレクション出張中



螺鈿梅花形樓閣人物図食籠 (部分)  
徳川美術館蔵

## 徳川美術館 本館展示室

特別展

### 花咲い、風の吹くらん

特別展 御霊屋改修記念

### 尾張徳川家と 菩提寺建中寺

## 秀吉清正記念館展示室

~5/19(日)

パネル展

### 尾張に残る 秀吉と清正の足跡

豊臣秀吉と加藤清正は主に西日本で活躍しましたが、生まれ故郷の尾張にも活動の跡や伝承などが多く残っています。ゆかりの場所を写真で紹介いたします。



「豊公誕生之地」碑  
(中村区中村公園)

6/1(土)~6/30(日)

特集展示

### 記念館所蔵の武具類

秀吉清正記念館の前身である豊清二公顕彰館時代から受贈するなどして保管している、甲冑や刀剣、馬具など新旧さまざまな品を展示します。



六十二間筋兜

7/20(土)~9/23(月・祝)

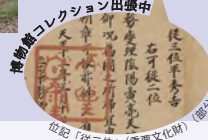
パネル展

### 藤吉郎から秀吉へ

ふるさと中村を出て織田信長に仕える前まで住んだ浜松時代から、羽柴秀吉となる近江浅井攻め頃までの流れを伝説も交えてふりかえります。



金ヶ崎城の焼米出土地  
(福井県敦賀市)



博物館コレクション出張中  
徳川義直(尾張家初代)着用  
徳川美術館蔵

## 名古屋市博物館 (リニューアル工事のため長期休館中)

### はくぶつかん講座

学芸員が講師をつとめる講座です。最新の研究成果や、ちょっとユニークな話題などをお話しています。今年度は館外のいろいろな社会教育施設等に場を移して、連携事業としての出前講座を企画しています。各回の期日・会場・演題・応募方法などは順次、公式サイトに掲載します。原則として聴講無料ですが、会場によって観覧料などが必要となる場合があります。

### 歴史体験キット「組紐づくり」

千年以上の歴史を持つ伝統工芸品「組紐(くみひも)」を作ってみませんか。丸台と、糸がセットされた組玉が入っており、ご家庭ですぐ始められるキットです。初心者向けの「はじめての組紐」、完成した組紐で飾りを作る「組紐で飾り結びづくり」のプログラム2種どちらでも体験できます。

申し込み：2024年7月1日(月)から開始  
貸出期間：2週間、貸出料金：500円(税込)  
\*利用手続き・申し込みは公式サイトから。



10/12(土)~11/17(日)

特別陳列

### 重要文化財 豊臣家文書

秀吉の妻高台院(おね)の兄、木下家定の子孫に伝来した、秀吉が関白に登り詰めるまでの足跡を示す貴重文書を、生まれ故郷の中村で公開します。



復元された高根城(浜松市水窪町)



妙行寺清正公堂(中村区中村町)

### なごやのうつりかわり (於：名古屋市美術館)

小学校3年生の社会科単元に対応した事業です。「電化前の暮らし」「電化後の暮らし」を通じて、暮らしのうつりかわりを体験できます。今年度は会場を名古屋市美術館(中区栄2-17-25、白川公園内)へ移して実施します。

一般の方は、2025年1月18日(土)~3月23日(日)の土日、および、2月11日(火・祝)、24日(月・振休)、3月20日(木・祝)にご利用いただけます。



2022年度会場風景

9/22(日)~11/4(月・振休)  
秋季特別展 みやびの世界  
宮廷文化の華

宮廷で華開き、長らく伝えられてきた雅びの文化を紹介します。



舞楽図巻(部分) 徳川美術館蔵

### 魅惑の源氏物語

紫式部が著した『源氏物語』の文化史を紹介し、その魅力を紐解きます。



国宝 源氏物語絵巻 東屋(一)  
徳川美術館蔵

11/9(土)~12/15(日)

企画展

### とんがり美術 -キワだっ個性-

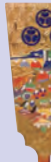
独特の雰囲気や印象を發し、他とは一線を画する、個性豊かな作品たち。本展では、そんな個性豊かな作品たちを「とんがり美術」と総称し、それらが誕生した背景を追いかけてみます。



伝徳川家光(3代将軍)筆 鶏圖 周東家寄贈  
徳川美術館蔵

1/4(土)~1/26(日)  
企画展  
めでたきかな  
お正月

門松を立て、鏡餅を供え、年の初めを祝うお正月は、現在に至るまで日本人の年中行事のなかで最も大切にされた営みです。日本のお正月のさまざまな「めでたい」アイテムや、その由来を紹介しながら年の初めを寿ぎます。



葵紋付左義長図羽子板  
徳川美術館蔵

2/1(土)~4/2(水)  
企画展

### 江戸絵画に新風が吹く

本草学の進歩や文学・芸術における復古思潮などを背景に、江戸時代後半は絵画史にも新たな変化が見られます。名古屋地域でも顕著な新潮流となった「長崎派」「南画」「復古やまと絵派」の作品を紹介します。



張月樵筆 雨中竹に鶏圖(部分)  
徳川美術館蔵

特別展  
尾張徳川家の雛まつり

## 博物館の公式サイトに新コンテンツが登場しました！

○「催し物・イベント」ページでは、休館中の活動の様子をご覧いただけます。

○「博物館の自己紹介・博物館の魅力向上」ページでは、リニューアル計画の内容をご覧いただけます。

○「こども博物館」ページでは、博物館の仕事や働いている人の紹介に加え、学芸員がどのような仕事をしているのか、クイズなどで楽しく学ぶことができます。



## 収藏品データベース

○博物館が所蔵する資料を web 上で検索できます。どんどん画像・情報を充実していきますので、調査や学習に活用してください。画像の利用条件については公式サイトでご確認ください。



「コレクション」→「収藏品データベース」  
または  
「収藏品データベース」のバナーをクリック

## よみがえれ文化財

○博物館・分館が所蔵する資料を修復・活用するために広く寄附を募っています。これまでに美術品や古文書の修復、出土遺物の保存処理、写真資料のデジタル化などを行ってきました。ふるさと納税制度を利用した寄附です。方法については博物館公式サイトをご覧ください。お電話でお問い合わせください。

## 休館中の活動およびリニューアル情報はこちらから。

公式サイトURL <https://www.museum.city.nagoya.jp/>



公式サイト



## ■ 博物館 利用案内 ■

名古屋市博物館は昭和52年(1977)に開館した歴史系の総合博物館です。

**ただいまリニューアル工事のため、長期休館中です。**

## 令和8年(2026)、再オープン！



外観イメージ

〒467-0806 名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

電話 052-853-2655(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

FAX 052-853-3636

## ■ 分館 利用案内 ■

### 名古屋市蓬左文庫

〒461-0023 名古屋市東区徳川町1001 電話 052-935-2173 FAX 052-935-2174

○開館時間 【展示室】10時～17時(入室は16時30分まで)

【閲覧室】開架図書:9時30分～17時

閉架図書:9時30分～12時、13時～17時

○休館日 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)

特別整理・年末年始休館(12月16日～1月3日)

○観覧料 一般1600円 高大生800円 小中生500円(徳川美術館と共通)

※ただし、閲覧室は入室無料

○交通

【名古屋駅より】

市バス基幹バス2号系統・名鉄バス(栄経由)

「徳川園新出来」下車、徒歩3分

【なごや観光ルートバス メーグル】

「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ

【大曽根より】

JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分



### 名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053 名古屋市中村区中村町茶ノ木25(中村公園文化プラザ2階)

電話 052-411-0035 FAX 052-411-9987

○開館時間 9時30分～17時

○休館日 毎週月曜日(祝日の場合は直後の平日)

毎月第4火曜日(祝日を除く)

館内点検休館(11月28日～12月8日)

年末年始休館(12月29日～1月3日)

○観覧料 無料

○交通

【名古屋駅より】

地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分

市バス名駅25系統・中村巡回「豊国神社」下車、徒歩2分



2024.4-2025.3

名古屋市蓬左文庫

名古屋市秀吉清正記念館

名古屋市博物館 (長期休館中)



長祿合戦図屏風